

いにしえ  
**図 B-2 : 古の街道筋と扇状地の地形・湧水** 交通の難所となった黒部川と扇状地の街道発達のひみつ



- ・黒部川扇状地を流れる黒部川は、かつては、<sup>しじゅうはっかせ</sup>四十八箇瀬とも呼ばれ、幾筋もの流路で流下し、春から夏にかけての雪解けによる出水や大雨などによる黒部川の増水で通行が妨げられていました。
- ・<sup>ほっこくかいどう</sup>北国街道は金沢から富山、魚津を経て、南西より黒部川扇状地に入り、<sup>みっかいちじゆく</sup>三日市宿で2手に分かれます。
- ・一方は、扇状地の海沿いを沓掛、<sup>にゆうぜん よこやまじゆく</sup>入善、横山宿を通して泊宿に最短コースで至る、<sup>ほっこくしもかいどう</sup>北国下街道(冬街道)。
- ・もう一方は、三日市から東に扇状地を登り、<sup>うらやまじゆく</sup>浦山宿から<sup>あいもとばし</sup>愛本橋を渡って<sup>ふなみじゆく</sup>舟見宿を経て泊宿に至る、<sup>ほっこくかみかいどう</sup>北国上街道(夏街道)と呼ばれています。
- ・黒部川の流量が少なくなる冬季には旅程の短い下街道が利用され、増水で黒部川が渡河できない春から夏にかけては上街道が利用されました。
- ・街道沿いには、往来の目印として植えられた「<sup>かいどうまつ</sup>街道松」<sup>①</sup>や「<sup>じんやあと</sup>陣屋跡の碑」等<sup>②</sup>が残り、往時の面影を伺うことができます。



凡例名	原典情報
街道・宿場町	富山県古地図/生地町 湊間唯一氏蔵:「黒部川」富山大学学術調査団 1966 より
地形区分	沿岸海域土地条件図「黒部」(1:25,000)/国土地理院
海底等深線	沿岸海域土地条件図「黒部」(1:25,000)/国土地理院
背景	標準地図(地理院地図)/国土地理院
湧水	黒部観光ガイド「生地まち歩き」/黒部市 等

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。(承認番号 ●●●●)」「この地図は、国土地理院の承認を得て、同院発行の5万分の1地形図、電子地形図20万及び電子地形図(タイル)を複製したものである。(承認番号 ●●●●)」

△注意! 必読のこと!! 本資料中の説明は、あくまでも読図の一例であって、確定的な分析ではありません。実際の利活用にあたっては、地元の地形・地質や地下水等に詳しい専門家の助言や監修を受けるようにして下さい。